

伊藤先生の

街かど診療室

Q & A

ドライアイについて①

今回は、眼科領域では非常にメジャーな疾患「ドライアイ」の話です。しかし一方で、多くの人がこの病気を誤解しています。

ドライアイと診断されたら、「涙が出づらく」「生点眼をしないと目がいじり思ってしまうか?」そのような方も確かにあります。しかし、現代ならではのドライアイも多数存在するのです。そのよう

な人は、正しい治療、生活習慣を獲得することでドライアイから離脱できます。予防医学でドライアイを克服できる人も多いのです。

まずは、ドライアイを理解してみましょう。

ドライアイとは、文字通り、目が乾燥している状態です。目が乾燥しているということは、涙が少ない、ということが容易に想像できます。涙は涙腺で産生

されますが、涙腺の機能が低下する疾患に、「膠原病」や、その類縁疾患である「シェーグレン症候群」などがあります。これらの疾患では、涙液を補充する意

味で、ヒアルロン酸含有の点眼液で眼球表面を潤しておくことが重要です。

また、目が閉じにくいために涙液の乾燥が進行する代表的な疾患として顔

面神経麻痺がありますが、これもまたヒアルロン酸の補充が第一選択です。同時に、眼軟膏を使用して乾燥を防ぐ場合も多いです。

これらの一併付合わなければならぬドライアイは全体の30%程度です。



伊藤 勇

保谷伊藤眼科院長

大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

☎ 042-439-8123

西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療

■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・金曜午後は予約優先



	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	/
14:00~17:00	検査・診察	手術	/	手術	検査・診察	/	/